

岩手県職労

月2回刊=1549号
2020年1月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

『参加する春闘』で賃金・労働条件改善を

春闘で組合員の期待に応える運動構築を

1月24日・25日、県本部

春闘討論集会在盛岡市内で

開催され、県職労から37人

が結集した。開会に当たり、伊藤県本部委員長が

「2020春闘がスタートする。春闘は一年の闘争の

起点となるもの。確定闘争

での継続課題の改善や職場

点検で明らかとなった課題

を要求書にまとめ春闘方針

を確立し、要求していこ

う」とあいさつ。

基調講演として、自治労

本部安東強化拡大局長が自

治労2020春闘方針を講

演。講演では、「春闘は、

良質な公共サービスと労働

者の処遇改善に向けた運動

のスタートとなるもの。賃

金・労働条件の改善は直ち

に解決できるものではない

く、交渉の積み重ねが不可

欠である。そのためには職

場で働く組合員一人ひとり

が抱える不安・悩み・期待

に応える取り組みを進める

べく、身近な課題を含めて

要求書に取りまとめ、労使

交渉を積み重ねることにあ

る。具体的な要求を春闘期

に当局に示し、確定期に交

渉成果を収めていく流れ

を構築することが重要だ。

要求ベースで人権準拠等と

いう理由で要求を下げるべ

きでない。組合員の実態を

踏まえた要求をする以上、

当局に対して明確に回答す

ること、改善の目的を示さ

せること等、誠意ある対応

を求めることも春闘期から

の取り組みである。併せて、

青年女性の学習と要求

の積み上げの取り組みも行

う、組合運動の理解を深め

る機会を設けることも重要

と訴えた。

その後、県本部及川書記

長から、春闘アンケート結

果をもとに賃金引上げ月額

13,000円とするこ

と、2020年4月施行の

会計年度任用職員の諸課題

の点検強化と継続課題の改

善要求などを柱とした春闘

方針の提起があった。

支部代表者会議

『会計年度任用職員』組織化に向け課題討論

県職労では、支部代表者

会議を開催し、19確定闘争

の総括に向けた課題と20春

闘方針に向けて討論すると

た。

新採用加入対策では、19

新採用者の未加入者が依然

として多く、2〜3月に再

度の声掛け(学習会の開催

等)を徹底し、最大限の加

入を実現していくこと、20

新採用加入対策に向けて、

各支部での加入促進対策会

議の開催と新採用者着任時

の各支部・分会の先輩組合

員の声掛けなどについて意

思統一をはかった。また、

新たに未加入者のカルテ化

を進め、声掛けの反応や課

題を整理したうえで、新採

用者のニーズ把握とそれに

即した対策を進めることを

確認した。

会計年度任用職員課題につ

いては、処遇や任用面での課

題を集約のうえ再交渉する方

向を確認するとともに、組織

化に向けた本部原案(組合員

資格、組合費設定、県職労総

合共済の在り方、組織化のス

ケジュールを議論した。会

議での意見に加え、各支部役

員段階での課題集約を行い、

原案を補強することとした。

県職労は、春闘討論集會

の討論を踏まえ、3月1日

臨時大会に向けて春闘方針

確立に向けて取り組みを進

めていく。

昨年、レコー

ド大賞を受賞し

た「パプリカ」

は、米津玄師さ

ん作詞・作曲・

プロデュースで

小学生5人によ

るユニット『F

o o r i n』が

歌っている。歌詞には子供

の頃に遊んだ記憶で、「あ

なたとの喜びの経験が両手

いっぱいになった思い」が

綴られている。パプリカの

花言葉は「君を忘れない」

であり、歌を聞くと子供の

頃の体験が大事だと感じる

▼食品科学者が病みつきに

なりやすい食べ物には、私

達が口に入れた時の体験を

快いものにする要素があ

り、①物を食べる時の感覚

②食品に含まれるたんぱく

質や脂肪、炭水化物の割合

だとい、企業は、このパ

ターンの研究に何十億円も

開発費をかけていると説明

があった。ジャンクフード

が売れる理由が分かる▼人

はストレスを感じると脳は

砂糖や脂肪に対する欲求を

感じるため、ジャンクフー

ドを食べる。健康は私たち

が「時間」に追われて生活

していることにも関係があ

る▼年末年始は長い休暇

で、家族と過ごした人も多

かった。組合員がこれから

も喜びを増やす為、働く時

間を意識し、組合は権利を

行使する環境改善に取り組

む。



▲自治労県本部2020春闘討論集會 (円内は講演する安東局長)



▲県職労支部代表者分科会

1年のたたかいはスタートは、春闘から

1.春闘の意義

- ①地域公共サービス労働者の賃金改善
- ②質の高い公共サービスの実現に向けた政策・制度の実現
- ③地域労働者全体の生活環境の底上げ
- ④地域住民へのアピール

良質な公共サービスと労働者の処遇改善についての社会的合意の形成

①1年間の各種闘争スケジュールを組織全体としてする。

- ア 賃金闘争=春闘期-人権期-確定期という年間を通じた賃金・労働条件改善の取り組み
- イ 現業・公企統一闘争=現業・公営企業労組(評議会)が有する協約締結権を活かす運動の展開
- ウ 男女平等推進闘争=男女がともに担う社会・職場・自治労運動の構築
- エ 人員確保闘争=公共サービスの維持・確保のための人員不足の解消

②当局との労使交渉・協議に関する労使関係ルールを確立する。

③賃金・労働条件、職場環境などの課題を洗い出す。

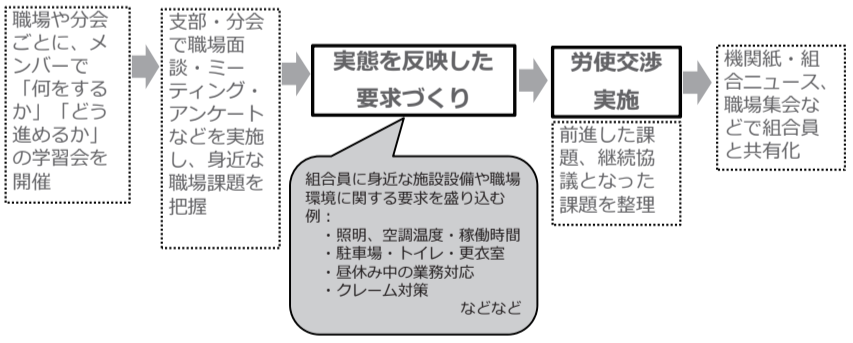
④多くの組合員参加を基本に要求書を作成する。
→確実に交渉につなげる(交渉にあたっては、幅広い層の参画を追求)

⑤格差是正・地域づくりの観点から、地域とつながる取り組みを進める(連合・他産別等)。

2020春闘、まずここからはじめよう

組織運営の基本:

職場で働く組合員一人ひとりが抱える不安・悩み・期待に応える取り組みを進めること



県職連合第27回・県職労第123回臨時大会

●日時 3月1日(日) 13時
●場所 自治労県本部大会議室

北上市議会議員選挙(3月22日告示・29日投開票) 平野あきのりさんを推薦へ



平野あきのり(51歳)
(自治労県本部組織内予定候補)

来たる北上市議会議員選挙を推薦決定した。北上市職に当たり「平野あきのり」労働執行委員長をはじめ労働(51歳・現1期・無所属・組合役員を歴任。働く者・自治労県本部組織内)さん生活者視点での市政の実現に取り組みとしていく。皆様の御支持をお願いする。

新採用加入対策では、19新採用者の未加入者が依然として多く、2〜3月に再度の声掛け(学習会の開催等)を徹底し、最大限の加入を実現していくこと、20新採用加入対策に向けて、各支部での加入促進対策会議の開催と新採用者着任時の各支部・分会の先輩組合員の声掛けなどについて意思統一をはかった。また、新たに未加入者のカルテ化を進め、声掛けの反応や課題を整理したうえで、新採用者のニーズ把握とそれに即した対策を進めることを確認した。

第五世代
昨年、レコー
ド大賞を受賞し
た「パプリカ」
は、米津玄師さ
ん作詞・作曲・
プロデュースで
小学生5人によ
るユニット『F
o o r i n』が
歌っている。歌詞には子供
の頃に遊んだ記憶で、「あ
なたとの喜びの経験が両手
いっぱいになった思い」が
綴られている。パプリカの
花言葉は「君を忘れない」
であり、歌を聞くと子供の
頃の体験が大事だと感じる
▼食品科学者が病みつきに
なりやすい食べ物には、私
達が口に入れた時の体験を
快いものにする要素があ
り、①物を食べる時の感覚
②食品に含まれるたんぱく
質や脂肪、炭水化物の割合
だとい、企業は、このパ
ターンの研究に何十億円も
開発費をかけていると説明
があった。ジャンクフー
ドが売れる理由が分かる▼人
はストレスを感じると脳は
砂糖や脂肪に対する欲求を
感じるため、ジャンクフー
ドを食べる。健康は私たち
が「時間」に追われて生活
していることにも関係があ
る▼年末年始は長い休暇
で、家族と過ごした人も多
かった。組合員がこれから
も喜びを増やす為、働く時
間を意識し、組合は権利を
行使する環境改善に取り組
む。

—2020年—

各支部「旗開き」で始動

県職労各支部は恒例の「旗開き」で2020年の活動をスタートさせた。2020春闘勝利、県職労運動の前進を期して団結を固め合う!!



▲県庁・盛岡合同支部旗開き (1/8)



▲一関支部旗開き (1/9)



▲北上支部旗開き (1/9)



▲一関・千厩の旗開き (1/15)



▲宮古支部旗開き (1/15)



▲気仙支部旗開き (1/15)



▲花巻支部旗開き (1/16)

新役員の任期は4月1日から1年間。



▲初日、スポーツ交流会の様子



▲上から、スポーツ交流会後の集合写真、ソフトバレーボールで交流、学習会のようす。円内は講師を務めた樋口さん



▲稲毛共実さん(胆江支部/総務部分会)

「車で片道40分かけて通勤しているのに、通勤手当を1か月あたり千円しか受け取っていない...」

1月21日から受付が始まった2020年度岩手県職員労働組合役員選挙での立候補の届け出は28日に締め切られた。

20春闘勝利へ職場・企業・産別を超えて

「超過勤務時間が過労死レベルの100時間を大幅に超えている」「他の所属で行うはずの業務まですべて市民課窓口での対応を強いられている」

清温荘に移動し、懇親会の際に全員から自己紹介をしてもらった。みんなの名前、職場、趣味、今日の感想を話してもらった。

「超過勤務時間が過労死レベルの100時間を大幅に超えている」



▲第53回全国青年団結集会

「自分はまだ大丈夫だから。ではない!」生きるために働く」という当たり前の権利を当たり前に見えぬふりしてはいけません!

ソフトバレーボールで交流

青婦部/夏のBBQ交流に続く第二弾

参加者から「次はもっと多くの仲間にかけて」

青年婦人部では、一月十八日(土)〜十九日(日)に滝沢市勤労者体育センターにて、ソフトバレーの交流を行い、その後「清温荘」で懇親を深め、温泉で疲れを癒した。

ソフトバレーは、チームを四つに分け、総当たり戦とし、合計六試合行った。受付の開始時間よりも前にほとんどの人が集合していき、自主的に練習をしていたのが印象的だった。チームは、年齢の若い順に振り分け、男女混合となるよう調整、職場もバラバラなメンバーで編成した。

始めは、うまくボールをつまげなかったり、サーブも決まらなかったりしたが、練習を重ねるうちに慣れてきた。

ムは、年齢の若い順に振り分け、男女混合となるよう調整、職場もバラバラなメンバーで編成した。

徐々にはいい試合ができるようになっていった。あるチームは、バレー経験者が二人おり、私には真似のできないプレーがいくつも見られた。私は、トスがうまくできずにボールを後ろに飛ばしてしまふことが多かった。次にソフトバレーをやるといいトスを上げられるようにしたいので、誰か教えてください。(笑)

「超過勤務時間が過労死レベルの100時間を大幅に超えている」

「自分はまだ大丈夫だから。ではない!」

「超過勤務時間が過労死レベルの100時間を大幅に超えている」

「自分はまだ大丈夫だから。ではない!」